

農業の
未来を作る



Nokyo Densan Center

経営理念

不易流行

「農業・地域社会のため」
「JAグループ新潟のため」
「職員・スタッフのため」そして
「会社のため」を礎に、
イノベーションを！

「不易流行」とは、いつまでも変わらない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものを取り入れていくこと。

「イノベーション」とは、新しいアイデアから社会的意義のある新たな価値を創造し、社会的な大きな変化をもたらす、自律的な人・組織・社会の幅広い変革を意味する。

「農業・地域社会のため」「JAグループ新潟のため」「職員・スタッフのため」「会社のため」の4つは、当社の変わらない本質、『不易』であることを胸に抱きつつ、技術や環境など、時代に即した変化、『流行』を取り入れ、よりよい社会へと変革、『イノベーション』することのできる職員、組織にしていきたいという思いが込められています。

経営ビジョン

次世代情報システムを 新潟から提案

経営ビジョン実現のための施策

JAグループ新潟の一員として情報システムを通じて
農業・社会の発展に貢献

JAグループ新潟の未来を創る人材の育成

JAグループ新潟を支える企業姿勢の構築

農業を取り巻く環境や社会情勢が目まぐるしく変化する中で、当社がJAグループ新潟の情報処理部門として必要とされる存在であり続けるには、目指すべき姿を明確にし、それに向けた挑戦と変革が必要であると考え、2030年に到達したい当社の目標として、第12次中期経営計画に合わせて「経営ビジョン」を策定しました。

会社概要

会社名	株式会社新潟県農協電算センター
所在地	〒950-0965 新潟市中央区新光町 6 番地 5
設立	1975 年 10 月 1 日（開業 1976 年 4 月 1 日）
資本金	払込資本 4 億 9,788 万円
株主	新潟県下全農業協同組合／新潟県農業協同組合中央会／ 新潟県信用農業協同組合連合会／ 新潟県厚生農業協同組合連合会／ 全国農業協同組合連合会／全国共済農業協同組合連合会
事業	(1) 農協、農協中央会、農協連合会及び関係団体の 電算機による情報処理 (2) 前号に付帯する一切の業務

沿革

JA新潟電算センターの これまでの歩み

- **1975年**
株式会社新潟県農協電算センター設立
- **1996年**
統合ネットワーク網の構築
- **2001年**
JAグループ新潟総合情報化システム
(JAN-TIS) 稼動
- **2006年**
ISMS 国際規格 (ISO27001) 認証取得
- **2010年**
ホスト系からオープン系へのシステム
の切り替え
- **2020年**
JA・組合員向け IT サービス
(ぼけっとあぐり) 稼動

施設の案内



塔屋

機械室／空調室外機

5F

役員室／事務室／端末研修室
職員休憩室／食堂／リフレッシュコーナー

4F

事務室／端末機室／リフレッシュコーナー

3F

端末研修室

2F

コンピュータ室／プリンター室

1F

電気室／非常用発電機室／CVCF室
中央監視室／配送室／警備室



4F 事務室



2F コンピュータ室

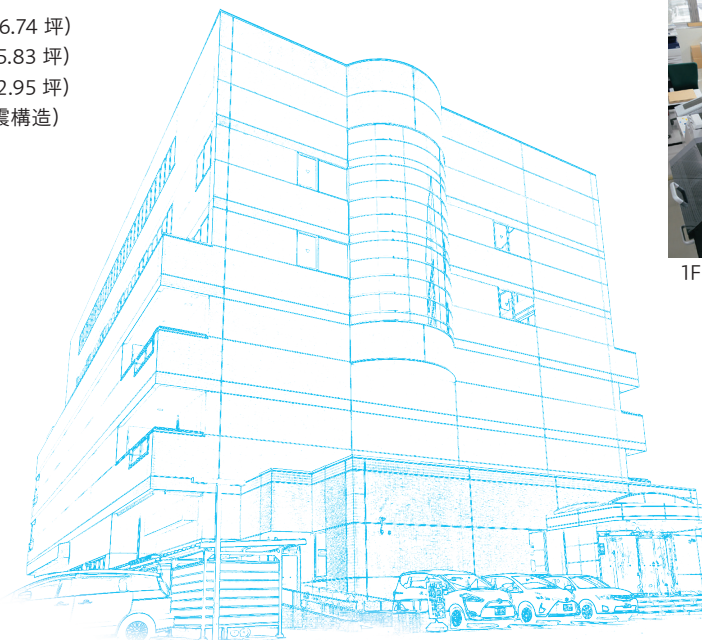


2F プリンター室

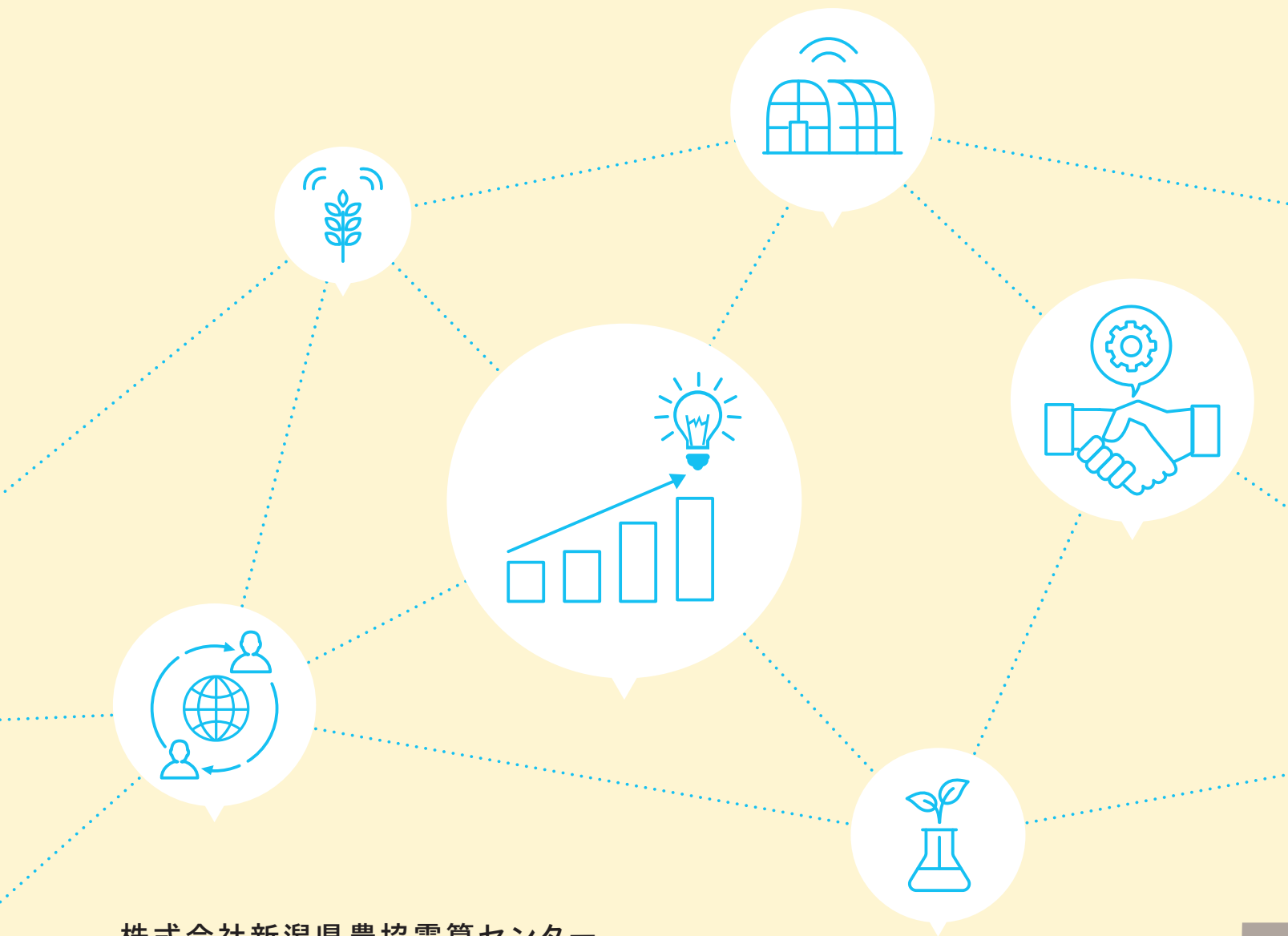


1F 非常用発電機室

竣工／1992(平成4)年9月
敷地面積／4,121.45㎡ (1,246.74 坪)
建築面積／1,440.772㎡ (435.83 坪)
建築延床面積／6,552.158㎡ (1,972.95 坪)
構造・規模／鉄骨造(耐火・耐震構造)
地上5階 塔屋1階



1F 配送室



株式会社新潟県農協電算センター



〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地5
TEL (025) 282-1231 FAX (025) 282-1600
<https://www.jainfo-niigata.co.jp/ndc/>



新潟駅よりタクシーの場合

新潟駅万代口よりタクシーに乗り、新光町の「健康会館」の信号交差点を右折し、「総合生協」の前を右折して約200mです。

バス利用の場合

市内バス利用の場合

【新潟駅万代口】から
→ 水島町経由美咲合同庁舎行 —— 【県庁前】降車徒歩5分
【新潟駅南口】から
→ 市役所前行 —— 【県庁前】降車徒歩3分
→ 美咲合同庁舎行 —— 【県庁前】降車徒歩5分
高速バス利用の場合 【高速バス停県庁東】降車徒歩10分

車利用の場合

——— 新潟バイパス 女池ICより10分
なお、駐車場の台数が限られていますので、公共交通機関利用または乗り合わせにて来社願います。

